

鳥取県小学校長会沿革史

年度	歴代会長	主な出来事
昭和21	第1代 谷口恵五郎（鳥取・久松）	郡市国民学校長会が連合し職能の向上を図り民主教育の発展に寄与するため、鳥取県国民学校長会結成の気運がたかまり2月21日米子市就将国民学校で総会を開催し発足する
昭和22	第2代 崎田 茂信（米子・就将）	定期総会（5月）
昭和23	第3代 尾崎 茂（倉吉・成徳） 第4代 片岡 気緑（鳥取・湖山）	定期総会（5月）
昭和24	片岡 気緑（鳥取・湖山）	
昭和25	同	定期総会（6月東伯郡八橋小学校） 研究大会（11月27日岩美郡岩井小学校） 会誌第1号創刊される（昭和26年2月15日）
昭和26	第5代 遠藤 哲（境港・境）	定期総会（6月西伯郡逢坂小学校） 研究大会（11月鳥取市明德小学校）
昭和27	第6代 片岡 気緑（鳥取・湖山）	定期総会（5月気高郡浜村小学校） 研究大会（11月米子市就将小学校）
昭和28	同	定期総会（5月東伯郡由良小学校） 第1回中国地区小学校長教育研究大会が10月米子市就将小学校で開催される 研究大会（11月倉吉市成徳小学校）
昭和29	同	定期総会（5月西伯郡淀江小学校） 研究大会（11月東伯郡浦安小学校）
昭和30	第7代 田蓑 鉄蔵（鳥取・遷喬）	定期総会（5月東伯郡松崎小学校） 研究大会（11月八頭郡智頭小学校）
昭和31	同	定期総会（5月倉吉市明倫小学校） 研究大会（11月境港市中浜小学校）
昭和32	第8代 内藤 知明（米子・啓成）	定期総会（5月東伯郡由良小学校） 組織の改編（総務、学校経営、教育課程の三部を設ける） 研究大会（11月東伯郡桜小学校） 教職員勤務評定問題起る
昭和33	第9代 谷口 源蔵（鳥取・醇風）	勤評臨時総会（4月鳥取市遷喬小学校） 定期総会（5月東伯郡八橋小学校） 研究大会（7月東伯郡浦安小学校） 勤務評定実施をめぐり混乱続く
昭和34	同	定期総会（5月東伯郡桜小学校） 部制を廃止し、人対、勤評の二専門委員会とする研究大会（10月日野郡溝口小学校） 互助会規定を設け35年2月8日より実施する
昭和35	第10代 西垣 稔夫（鳥取・修立）	定期総会（5月東伯郡八橋小学校） 研究大会（11月倉吉市河北小学校） 勤評問題漸くおさまる
昭和36	第11代 稲村 謙一（鳥取・遷喬）	定期総会（5月東伯郡東伯小学校） 第9回中国地区小学校長研究大会が10月鳥取市遷喬小学校で開催される 研究大会（11月気高郡青谷小学校） 学校管理規制改正、学力テスト問題おこる
昭和37	同	定期総会（5月東伯郡赤碕小学校） 勤評委員会を廃止し行財政委員会を新設する大会に事務局を設置し書記を置く（6月） 研究大会（11月西伯郡名和小学校）
昭和38	同	定期総会（5月倉吉市成徳小学校） 給与委員会を新設する 鳥取県小学校経営研究会を結成する 研究大会（11月鳥取市久松小学校）
昭和39	第12代 村田 道雄（鳥取・日進）	定期総会（6月東伯郡八橋小学校） 研究大会（11月米子市福原小学校）
昭和40	第13代 寺坂 正信（鳥取・修立）	定期総会（5月倉吉市成徳小学校） 互助規定細則の一部を変更する 研究大会（11月八頭郡育英小学校） 夏期休業日数延長問題をとりあげる